

平成25年6月24日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 国立明石工業高等専門学校 松宮 篤
2. 講師氏名: Michele Dall'Arno
3. 同行者氏名: _____
4. 実施日時: 平成 25年6月24日 (月) 13:00~14:30
5. 参加生徒: 2年生 44人(合計 44人)
備考: 都市システム工学科学生
6. 講演題目: (英文) Doing Research in Quantum Physics
(和文) 量子物理学の研究
7. 講演概要:
母国イタリアの話、スペインでの研究生活、日本での生活 そして 量子物理学の考え方とその研究について
8. 使用言語: 英語および日本語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 80分 質疑応答時間 10分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
主にプロジェクター使用による説明(黒板を使用した説明もあり)
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
外国人研究者本人による日本語説明もあり、わかりにくい場面のみ担当者が簡単な英語の通訳を担当した。
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
講師の Dr. Michele から事前にいただいた英単語集を配布しておいた
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項:
英語だけではなく、難解な場面で理解を助けるために日本語を使用してくれたのがよかった。学生が質問しやすくなったと感じました。実際たくさんの質問が終わってからも出た。講師が日本語に興味を持っている場合、日本語の練習も兼ねると双方によい影響があると思います。よいアイデアだと思いました。